

令和6年1月4日

玄界環境組合
組合長 田辺 一城 様

宗像清掃工場環境委員会
委員長 柳瀬 龍二



宗像清掃工場環境監視・調査結果について（答申）

令和5年6月29日付けで諮問のありました下記事項について、次のとおり答申致します。

記

1. 諮問

(1) 令和4年9月から令和5年8月までの宗像清掃工場環境監視・調査結果について

2. 答申

令和5年6月29日、令和5年11月30日に開催した宗像清掃工場環境委員会においては、諮問事項に関して以下の区分に分け、周辺環境及び施設の維持管理に関する環境監視結果の評価を行った。

年月日	検討内容（主なもの）
令和5年 6月29日	・ 施設稼働後環境監視結果(R4(2022)年9月～R5(2023)年3月)について
令和5年 11月30日	・ 施設稼働後環境監視結果(R5(2023)年4月～R5(2023)年8月)について

2.1 令和5年6月29日(令和5年第1回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質について実施されており、委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり焼却対象物、埋立対象物、大気質、水質、騒音・振動、ばい煙測定について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

2.2 令和5年11月30日(令和5年第2回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質、土壌について実施されており、委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり焼却対象物、埋立対象物、大気質、水質、悪臭、作業環境について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

3. 総括

環境監視結果(令和4年9月～令和5年8月)について、宗像清掃工場環境委員会において審議した結果、周辺環境及び施設の維持管理に関する環境監視結果ともに、施設の計画値等を満足しており、工場が周辺環境を悪化させるものではないと評価する。

なお、本施設は稼働後約20年が経過し、徐々に老朽化の兆候が認められている。また、環境監視結果では、ビニール・合成樹脂ゴム皮革類の発熱量の高い可燃物の割合が稼働当初と比べて高くなっている傾向が確認された。このため、焼却対象物の組成の可燃分、特に、ビニール合成樹脂等の減量化を図ることが老朽化した施設の維持管理費の削減及び長寿命化のためにも重要である。

以上

なお、諮問についてのお問い合わせは、工場までお願いします。

宗像清掃工場

場長 吉 武 修